The Article 9 Society Hiroshima
第九条の会ヒロシマ
会報 59号
2008年10月

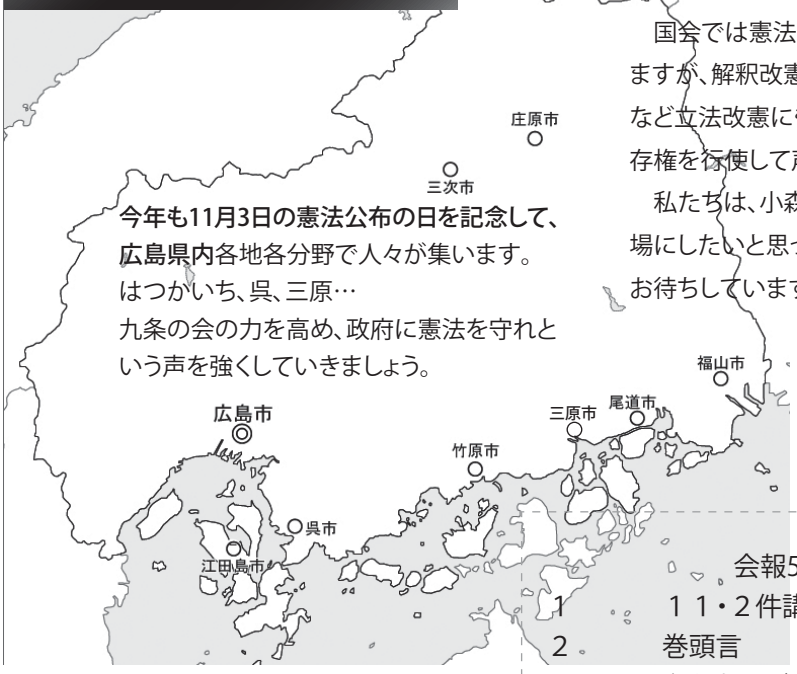
世話人代表　岡本三夫（広島修道大学名誉教授）
連絡先　〒734-0015　広島市南区宇品御幸1-9-26-413
TEL　070-5052-6580　E-mail：fujii@jca.apc.org（藤井）
FAX　082-283-7789（佐々木孝）
ホームページ：http://www.9hiroshima.org/
郵便振替　０１３９０－５－５３０９７
第九条の会ヒロシマ　年会費2,000円

憲法公布から62年

主権者力を磨き、９条を奏でる

小森陽一　憲法を語る

11.2（日）
14:00 ～ 16:00
広島国際会議場
ヒマワリ
（中区中島町1−5 平和記念公園内）
参加費　999円
（高校生以下、障がい者無料）



今年も11月3日の憲法公布の日を記念して、
広島県内各地各分野で人々が集います。
はつかいち、呉、三原…
九条の会の力を高め、政府に憲法を守れと
という声を強くしていきましょう。

憲法と市民の力

日本政府は「イラクから空自を12月までに撤収させる」と表明し、04年に始まった自衛隊派遣は12月完全に終了します。ピース・デポはインド洋の給油の実態を明らかにしました。名古屋ではイラク派遣は違憲という勝利判決を引き出しました。広島でも、呉海自はインド洋での給油をやめ、海田陸自も早く帰って来いと訴え続け、自衛隊の海外派兵ハンタイという市民の声は全国にこれまでにない広がりをみせています。名古屋の弁護団の一人が言われるように、「憲法と市民の力がイラクからの撤退を勝ち取った」のではないでしょうか。

９月２５日、米原子力空母の横須賀米海軍基地入港にも大きな抗議行動。９月６日、原子力供給国グループ総会では「米印原子力協力協定」が日本政府も容認し承認されましたが、「まだまだハードルはあり、声をあげる機会はいくらでもある」と広島は、次の取り組みをスタートさせています。

国会では憲法審査会も開けず、明文改憲は少し遠のいたかのように見えますが、解釈改憲を果てしなく拡げ、アフガニスタンISAFへの参加、恒久法など立法改憲にも油断禁物です。市民は、危険な動きを見逃さず、平和的生存権を行使して声をあげ、憲法と市民の底力を発揮する時です。

私たちは、小森陽一「九条の会」事務局長をお呼びし、市民が力を蓄える場にしたいと思って企画しました。お誘い合わせの上、どうぞご参加下さい。お待ちしています。

会報59号　目　次

1	１１・２件講演会のお知らせ	
2	巻頭言	（岡本　三夫）
3	私たちはどう立ち向かうか　麻生新政権下で	（高田　健）
4～5	戦争違法化の流れ	（二見　伸吾）
6～7	「G8洞爺湖サミット」の成果は？	（渡田　正弘）
8～9	８・６新聞意見広告報告	（佐々木孝　西浦紘子　藤井純子）
10	意見広告つくりに参加して	（北村あおい）
11～13	私たちの暮らしの電気と原子力から考える平和	（石岡　敬三）
14～16	皆さんからのメッセージ	
17	活動記録	
18	お知らせ、後記	

チラシは何枚でもお届けします

呼びかけてください
カラーの別チラシをご覧下さい。
チラシ・チケットを何枚でも送りますので
遠慮なくご連絡下さい。
E-mail：fujii@jca.apc.org
Tel・070-5052-6580（藤井純子）
FAX：082-283-7789（佐々木孝）

【巻頭言】

「新ルネッサンス時代」を迎えたヨーロッパ

岡本三夫

8月6日の朝

この夏は在欧４０年の畏友KKの誘いで渡仏、在米２６年後にドイツに転居した私たちの一人娘と彼女のムコ殿の実家にも招かれた。ドイツは私にとっては米国に継ぐ第２の留学地。古い友人も多い。仏・伊は各1ヵ月程度の滞在経験もある。が、今回の訪伊はいわば妻への感謝の贈物。フランスではKKの呼びかけで集った在パリ日本人との交流会、イタリアでは５年ほど前に広島修道大客員教授として滞在中に知己を得たフィレンツェ大教授カルロス・フサーロ博士（憲法学）との再会を果たすことができた。

今、ヨーロッパ各国では米国人も日本人もユーロ高には悲鳴を上げている。実際の物価は1ユーロ＝1ドル程度なのだが、1000ドルを換金しても640ユーロにしかならない。ドイツではマルク、フランスではフラン、イタリアではリラだった時代は「ドル様さま」であり、日本円も強かった。まさに「様変わり」で、今や、「ユーロ様さま」なのだ。中東諸国でもすでに数年前から原油輸出に伴う「ドル決済」をやめて、「ユーロ決済」に移行したと伝えられる。

「ドル全盛時代」が終わったように、米国の覇権も終わらざるを得まい。「米ソ核戦争不可避」が語られた冷戦酣(たけなわ)の70年代、「ヨーロッパは歴史の博物館。ヨーロッパが消えても米国は困らない。ヨーロッパにあるもので米国ないものはないから!」と豪語した米国人ツーリストにドイツの列車中で会ったことがある。米国の核戦略家は「限定核戦争」ということでヨーロッパでの核戦争を計画していたことがあるが、彼らもまたヨーロッパを「単なるミュージーアム」としか考えてはいなかったのだろうか。

なるほど、ヨーロッパの各都市は歴史的な遺跡や遺産に満ちている。特にパリやローマはそうだ。2000年、3000年の「歴史」が目前に横たわっているという感覚は圧倒的だ。ローマ市内のコロシアム、パンテオン、カラカラ浴場、ヴァチカンの大聖堂、火山で全滅したポンペイ遺跡などに私の体は震えた。古代からの人間の歴史的営為が脈々として流れ、連綿として続いている。「歴史の証し」が眼の前にその肢体を曝け出している。我が眼の前に横たわる凍結した悠久の時間。何という歴史の大パノラマ!

今回、初めてデカルト（1596～1650）の頭蓋骨をパリの博物館で見た。「我思う。故に我あり」（Cogito ergo　sum）という「疑い得ない私的実感」を妥協不能な真実として「知識の絶対的に確実な基礎」固めに用い、近代哲学と近代科学の始祖となった天才。その天才の頭蓋骨が1枚のガラス越しに「そこにある」のだ。正直言って、薄気味悪かった。350年以上も昔の頭蓋骨を孜々営々として大事に保存する西洋人のしたたかさ、執拗さには舌を巻く。彼ら彼女らの歴史意識に触れたような気分にさえなった。

この西洋人たちは半世紀かけて欧州連合（EU）を創り、国境を廃止し、通貨を統一した。加盟国数はおよそ30カ国。まだまだ拡大する勢いだ。戦争に明け暮れた独・仏などが今や「平和の楽園」に変貌したのである。15世紀にルネサンス運動を巻き起こし、近代の先駆けとなり、植民地主義の害悪で諸民族を苦しめたヨーロッパ諸国が、世界に先駆けて平和共同体に変身し、「新ルネサンス時代」を迎えている。もはや、歴史の牽引車は米国ではなく、欧州連合である。そういう実感が私には伝わってきた。

もちろん、米国の軍事力は圧倒的であり、世界最強である。だが、もはや腕力だけで動く世界ではない。アフガニスタンやイラクのような中規模の国でさえ、米占領軍はその治安を維持できず、状況は泥沼化している。圧倒的軍事力の限界を絵に描いたような光景だ。米国のネオコンと呼ばれる政治学者たちは「軍事力＝政治力」と誤解している。今、米国では大統領選の真っ最中だが、新しい大統領は米国の世界政策を抜本的に転換せざるを得ないだろう。

「ユーロ高では私たちも大変困っています」という訴えをヨーロッパ各地で耳にしたが、強力な通貨は国力の反映でもあるのだから辛抱して貰いたい。ユーロ高で私たちも貧乏旅行を余儀なくされ、惨めな思いをしたが、歴史的な「新ルネサンス時代」誕生の生みの苦しみを分かち合ったのだと思えば、旅の思い出の辛かった部分もちっとは緩和されるというものだ。

（「第九条の会ヒロシマ」世話人代表）

私たちはどう立ち向かうか

福田康夫の政権投げ出しと、麻生新政権下での総選挙について

高田健（許すな!憲法改悪・市民連絡会）

９月１日、福田康夫首相は突然の辞意表明を行った。改造内閣成立からわずか１ヶ月にも満たないうちの政権破綻だ。１年前の安倍晋三につづく自公連立政権の２代にわたる無責任な政権投げ出しは醜態という以外にいいようがない。安倍晋三は所信表明演説直後の辞任で、福田康夫は内閣改造間もなくの辞任だ。麻生新首相を首班とする事実上の選挙管理内閣の下で、間もなく総選挙である。

福田の辞職表明で世論の自公政権への不信がいっそう高まった中、自民党執行部はこの危機を「国民的人気」があるといわれる麻生太郎幹事長を中心に派手な総裁選挙を演出することで、政権維持の好機に変えようというバクチにも似た方針をとった。マスメディアを使って「経済浮揚派」と「構造改革継承派」の対立を演出することで、国民的に不安と不信感がある政府の経済政策で、あたかも転換がおきるかのような派手な宣伝が行われた。総選挙を意識して、ほとんどの候補が経済政策一点張りの主張に走るなかで、自民党は候補に石破前防衛相を加えて安保問題を語らせる布石も打った。給油新法についてはどの総裁候補も「石破に迫られたかたち」をとって、巧みに「実行」を表明した。

しかし、結局、どの総裁候補も自民党綱領にある「憲法改正」についてはふれなかった。これは、今年４月の『読売新聞』の世論調査に示されたような改憲反対の国民世論と、公明党＝創価学会の協力なしでは当選すらおぼつかない多くの自民党議員たちの選挙対策が意識されているためだ。しかし、とりわけ麻生太郎新首相は極右集団「日本会議」の幹部の経歴を持つ人物であり、彼が「改憲」という本音を封印して総裁選を進めたことは、きわめて危険な目くらましの政治である。

マスメディアをフルに動員した派手な総裁選報道の中で、事実上、これを総選挙の事前運動化して、１ヶ月後には選挙になだれこんでしまおうという動きも出てきた。新首相の下でまともな国会論戦をやらないままに、総裁選の熱が冷めないうちに選挙をやるという。こんな人だましの政治を許せるものではない。

いずれにせよ、解散権は自公連立の新政権が握っており、この人々がみずからの陣営にもっとも有利な時期に解散をする。事実上の選挙管理内閣にすぎない新政権のもとで、間もなく総選挙が行われる。この総選挙に私たちはどう立ち向かうべきだろうか。

まず第１に、衆議院においても先の参院選で安倍改憲内閣に打撃を与えたと同様に、麻生・自公連立政権に打撃を与えて、与野党逆転を実現することである。積年の自公連立の悪政に終止符を打つことが出来るかどうかが問われている。与野党逆転は国民にバラ色の政治の実現を約束するわけではない。第一党になるであろう民主党の憲法問題や税制をはじめ、その路線に大きな疑問符が存在することは明らかだ。しかし、参院の与野党逆転が政治の変化に一定の効果があったように、衆議院でのそれも今後の日本の政治の大きな変化を生み出す契機となりうるだろう。

第２に、私は「政権交代を可能にする二大政党制の実現」というスローガンに反対である。民主党がそのマニフェストで「国民の生活が第一」というのは賛成だが、「二大政党制をつくりあげるしかない」と主張するのは正しくない。どだい、今日の市民社会における国民の政治的・経済的、文化的な要求や意識は多種多様である。これを二分化した二大政党で吸収することは不可能であり、危険ですらある。民主主義においては、参議院のように多様な野党が存在することこそ必要である。この多様な野党の存在を失うことは、民衆の政治にとって決定的な損失につながりかねない。

第３に、与野党逆転を目指す野党の中で、憲法改悪に断固反対する社民党、共産党の伸張が求められている。これらの政党は国民の圧倒的多数の世論である９条護憲を保障する政党である。来る衆院選においては、これらの護憲派政党と他の党内の護憲派議員の前進こそが重要である。院外の市民の運動はこれらの人々と連携して、国会内外で積極的にたたかうべきである。そのことを通じて、日本国憲法の第９条をはじめ、２５条、２４条、２１条、２０条、１４条などをはじめとする憲法の平和と基本的人権、民主主義に関する諸条項を生かしていく政治を実現する契機を獲得していこう。

2008年9月22日

「自衛隊ではなく、９条を世界へ」
高田　鍵著（梨の木舎）10月初出版1800円予定

戦争のない世界へ

戦争違法化と日本国憲法　vol.1

二見 伸吾

はじめに

戦争のない社会は長い間、人類の夢でした。今なお、戦争をなくすことは現実になっていませんが、手の届かない夢から、めざすべき目標、理想として、戦争のない社会は展望されるようになりました。これが、20世紀の大きな変化であり、21世紀に生きる私たちはこの理想を現実のものとするかどうか、が問われています。

なぜ、戦争をなくすことがたんなる夢でなく、現実的な課題となったのか、20世紀の歩みをふりかえって、考えてみたいと思います。

戦争は20世紀にどう変わったか

20世紀は「戦争の世紀」とも言われています。

それまでも戦争はありましたが、戦争の性格が19世紀から20世紀にかけて大きく変わったのです。科学技術の発達が戦争と結びつき、戦争の破壊力が飛躍的に増大し、犠牲の質と量もかつてないほどに大きくなりました。20世紀の戦争の特徴は「総力戦」であり、無差別攻撃と大量殺戮なのです。

戦争のあり方の画期だったのは二つの世界大戦です。国連憲章が言うように「言語に絶する悲哀を人類に与え」ました。第一次世界大戦（1914－18年）は史上初の世界戦争です。当時の独立国59のうち33カ国が参加。戦死者約900万人といわれ、けが人も含めると約2200万人が犠牲になりました。第一次大戦で新しく登場した兵器は、機関銃、戦車、戦闘機、潜水艦、火炎放射器、そして毒ガス。大量破壊兵器が登場したのです。

第二次世界大戦（1939－45年）は、全世界75カ国のうち63カ国が参加し、その名の通りの世界大戦でした。ナチスによるユダヤ人虐殺（その犠牲者600万人）、日本軍によるシンガポールや中国各地での虐殺、アジア各地での性奴隷（従軍慰安婦）、アメリカによる原爆投下、といった手段を選ばぬ人殺し、蛮行がなされたことが特筆されねばならないでしょう。戦死者は正確な数は分かりませんが、5000万人を超すといわれています。軍人が1700万人。一般民衆が3400万人にのぼります。

日本国憲法への道　戦争違法化の新しい流れ①

戦争の規模が拡がり、残虐性が増すことによって、戦争をやめさせようとする人びとの努力が格段に前進します。それは戦争そのものを違法なもの、正しくないものとすることと一体でした。20世紀は「戦争の世紀」だという見解は、20世紀の時代の特徴づけとして半分の正しさしかありません。地球的規模の極悪非道な戦争を乗りこえて、「戦争違法化」への努力が始まり、大きく前進した。これがもう一つの20世紀の大きな特徴なのです。

●第一次世界大戦がおわって

第一次世界大戦が終わり、パリで講和会議が開かれ、ヴェルサイユ条約が結ばれます(1919年6月28日調印)。このヴェルサイユ条約の第13編「労働」がＩＬＯ憲章前文となりました。

このＩＬＯ憲章の前文には、「世界の平和を長続きさせるためには社会正義を土台にすえなければなりません。多くの人びとに不正、耐え難い苦しみ、貧しさをもたらすような労働条件を放っておくことは、大きな社会不安をもたらし、それが世界の平和とハーモニー調和を危うくします。ですから労働条件の改善を急がねばならないのです」とあります。、社会正義と世界平和を実現するために、労働条件の改善が求められているのです。

国際連盟は、ヴェルサイユ条約第１編を規約として1920年1月20日発足します。その前文で戦争による紛争解決が禁じられます。日本国憲法第９条の源流がここにあります。

第一次世界大戦の惨禍をへて、戦争を防ぐことが世界の共通目標として確認され、戦争そのものを否定する偉大な一歩が踏みだされたのです。兵士約1000万人、一般民衆約1000万人という命の犠牲によって、人びとは平和の尊さを知り、戦争放棄への道を歩み始めます。この平和を求める願いが、ヴェルサイユ条約に反映し、ＩＬＯや国際連盟をうみだしたのです。

1927年、フランスのブリアン外相は、米仏間の戦争違法化条約を提案します。これを受けたアメリカ国務長官ケロッグは、多国間条約とすることを逆提案し、1928年には、日本を含む15カ国が調印しました。こうしてできたたのが、パリ不戦条約です。第１条で戦争放棄を宣言し、第２

条で紛争解決に武力を用いないことを決めた不戦条約は、第二次世界大戦後の国連憲章や日本国憲法第９条１項の原型です。

●第二次世界大戦のさなかで

国際連盟やパリ不戦条約にもかかわらず、1939年、第二次世界大戦が勃発。しかし、この国際戦争が始まってまもなく戦後世界のあり方の検討が始まります。戦争のただ中で平和への道が模索されていたのです。

1941年8月14日の大西洋憲章（英米共同宣言）、1942年１月１日の連合国共同宣言、1945年7月26日のポツダム宣言がそれです。

大西洋憲章は、アメリカ大統領ルーズヴェルトとイギリス首相チャーチルが大西洋上で会談し、発表した第二次世界大戦についての基本方針です。戦後の世界平和についての八原則を掲げましたが、その６番目に「すべての国のすべての人類が恐怖および欠乏から解放されて、その生命を全うすることを保証するような平和が確立されることを希望する」という、平和的生存権の考え方が出てきます。８番目には、平和のためには「武力の行使の放棄」「武装解除」が必要であることも述べられているのです。

ですから、日本国憲法の考え方は、突如出てきたのではありません。この大西洋憲章から当然、導き出される自然な結論なのです。

「連合国共同宣言」は、1942年１月１日に、アメリカ、イギリス、ソ連など26カ国の連合国により署名された宣言で、前年の英米共同宣言の８項目の基本原則を基礎にした日本、ドイツ、イタリアのファシズムすうじく枢軸国に対する徹底的な戦争遂行と、単独では講和しないこと、休戦しないことを誓約した文書です。

「生命、自由、独立および宗教的自由の擁護」と「人類の権利と正義を保持」するために連合国の勝利は必要なのだ、と宣言は述べています。

1945年７月26日、ポツダム宣言が発表されます。日本の非軍事化と民主主義の助長など、戦後日本に対する連合国の基本方針を明らかにしました。「日本国の戦争遂行能力が破砕」とあり、戦力をなくすことを占領の目的にあげています。さらに「日本国が戦争のために再軍備をすることができるような産業は」許されないと、再軍備も禁じています。

ポツダム宣言を受諾したということは、軍隊を解体し、再軍備しないことを認めたことです。当時の日本の支配層は天皇制を残すために、進んでポツダム宣言を受け入れ、戦争と軍備を放棄した９条も受け入れたのです。

●第二次世界大戦がおわって

【国際連合憲章】

1945年６月、サンフランシスコで開かれた連合国会議で国連憲章が決められました。調印は６月26日、日本の敗戦より前です。この国連憲章が第二次世界大戦直後の戦争と平和に関する一つの到達点といえるでしょう。

わたしたち、連合国の人びとは、以下のことを決定しました。

①わたしたちの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救うこと。
②基本的人権、人間の尊厳とその値打ち、男女同権と大小各国の同権がきわめて大切だということをあらためて確認すること。
③条約と国際法から生じる正義と義務を尊重しつづける条件をつくりだすこと。
④より自由ななかで、社会を進歩させ、よりよい生活水準を向上させること。

上記の目標(ends)の実現のために、

①広い心で互いを認めあい、よき隣人としてともに平和に暮らすこと。
②国際平和と安全を手に入れるために私たちの力を合わせること。
③みんなのためでなければ、武力を用いないこと。これを確実に原則として認め、方法とすること。
④すべての人びとを経済的、社会的な発達を促すために国際機構を用いること。

これらの目的(aims)を達成するために、私たちの力をあわせることにしたのです。》（訳文とマル数字は二見）

前半の四つの目標（ends）は、獲得すべき目標であり、後半の四つはそれを実現するための手段です。しかもその手段の実現も含めて八つすべてが目標（aims）となっています。

国連憲章にも、平和のもとで、自由でよりよい暮らしを求めるという平和的生存権の考え方が述べられていることが分かると思います。武力によらない平和をめざしているのも日本国憲法と一緒です。（つづく）

「G8洞爺湖サミット」の成果は？

渡田正弘（グローバリゼーションを問う広島ネットワーク）

1、G8サミットとは政策協調のための談合

わかりやすく言えばG8サミットは、途上国を排除して仲間内での取り決めをするための集まり、つまり談合です。理由は、G8サミットは非公式の私的会議であり、G8の宣言・決議等には国際法上の根拠はなく、強制力を持たないので。先進国サミット（主要国首脳会議）では、米国、フランス、ドイツ、英国、日本、イタリア、カナダ、ロシア、の8ヶ国首脳（およびEU委員長、国際機関の代表）が年1回集まり、国際的な経済的、政治的課題について討議するのが建前。1975年にフランスの提唱で６ヶ国でスタートし、1998年よりロシアがやっと加えてもらいG8となる（ロシアは主要国であるが先進国ではない）。

＝問題点は以下の3点＝

①現在の世界的課題「地球温暖化、世界経済不安（サブプライムローン問題など）、アフリカの貧困、食糧危機」の主原因はG8の主要国が作った。つまり、解決策を本気で出さない。

②G8という枠組みの背後には多国籍企業、軍産複合体、ロスチャイルド家とロックフェラー家の2大金融財閥グループなどが控え、世界の根っ子の部分をコントロールしている。つまり、真の目的は経済的権益の維持拡大にある。

③洞爺湖サミットでは具体策は何も決まらず終了。しかし、裏でこそこそ自国企業のための2国間及び多国間取引が秘密裏に開催された可能性大。つまり、首脳は国のトップセールスマンの役割を担う。

2、G8サミットの“８つの大罪”

1980年代に入り、新自由主義的グローバリゼーション（自由競争・経済効率優先、民営化、社会的弱者切り捨ての考え方）の悪影響（経済格差拡大、環境破壊、貧困の拡大など）が世界規模で進行しました。それゆえ、1980年代後半から、市民・NGO等がサミットに対し抗議行動を始め、2001年のジェノバ・サミット（イタリア）には世界中から約20万人、2007年のハイリンゲンダム・サミット（ドイツ）には約８万人が集まりました。スローガンは「世界のことを勝手に決めるな！」です。

世界の市民運動をリードするNGOのATTACフランスが、G8サミットの本質を8つの大罪として簡潔にまとめているので以下に紹介します。

（８つの大罪）

①途上国の貧困や債務問題を深刻化させ、先進国に有利な開発戦略を促した。

②巨大アグリビジネスを優遇し、小農家の生活基盤を破壊し、遺伝子組み換え作物を普及させた。

③「規制緩和」の推進によって、公共サービスの低下、アジアなどでの通貨危機を招いた。

④労働基準を企業に有利に緩和し、非正規労働者や失業者を大量に生み出した。

⑤大企業の環境破壊を黙認し、「地球温暖化」対策と称して、原子力発電の推進、CO^2排出権取引の投機市場化を進めている。

⑥先進国の安全保障や軍事産業を優先し、平和や基地撤廃を求める人々の声を圧殺した。

⑦「テロとの戦争」の名目で警察・軍事力を動員し、人々の生命や自由を奪い、人権を侵害した。

⑧マイノリティの人権をないがしろにし、国家と企業の利益のみを優先した。

3、「G8洞爺湖サミット」対抗行動

7月7日から9日まで北海道の洞爺湖でG8首脳会議（サミット）が開催されました。それに対してG8に批判的な市民側は、世界のNGO活動家たちと連携し、「G8サミット市民フォーラム北海道」、「G8を問う連絡会」、「G8サミットNGOフォーラム」などのネットワーク組織が中心になり札幌で対抗行動（デモ、セミナー、ワークショップなど）を行いました。参加者は環境・貧困・農業・反戦平和・女性の人権・先住民族・労働・パレスチナなど多様な分野に関する活動家や市民など。

私は、７月4日から７日まで札幌に滞在し、「G8を問う連絡会」（ATTACジャパン、ピープルズ・プラン研究所、日本消費者連盟が窓口）が中心になって企画した「国際民衆連帯フォーラム」のイベントに参加しました。

（7月4日）

16時からの「国際民衆連帯フォーラム」オープニングセレモニーで、成田空港で入管に4時間も足止めを食らった国際的活動家スーザン・ジョージが、「今回のサミットを最後のサミットにさせよう！」と激励スピーチ。その他、韓国（新千歳空港で多くの仲間が足止めを食らい、1名逮捕に抗議）、バングラデシュ、フランスなどからの参加者、及びア

スーザン・ジョージさん

イヌのカワムラさんが挨拶。その後、“世界のことを勝手に決めるな！”“NO!G8”のスローガンでサミット反対デモに参加（参加者約200人）。

（7月5日）
午前中は、香港のNGO「グローバリゼーション・モニター」が主催するセミナー「台頭する中国－誰の犠牲で」に参加（約20名）。中国における労働者の現状や中国に進出した香港企業に対する抗議行動について報告があった。また、「援助のおカネはどこいった？途上国の債務とG8」（ジュビリーサウス、ATTACジャパン、アジア太平洋資料センター等の主催）ではフィリピンやバングラデシュの不当な債務の事例報告あり。
午後は、メインイベントの「チャレンジ・ザG8市民ピースウォーク」に参加（参加者約5000人）。出発前の挨拶では、国内および海外ゲスト（ギリシャ、フィリピン、インド、インドネシア、カメルーン他より）が多数登壇し、フィリピンのウォールデン・ベローも檄を飛ばした。私たちのすぐ後ろにいたサウンドデモ隊の若いメンバー3名とロイターのカメラマンが逮捕された。見せしめの不当逮捕もいいところである。デモコースには全国から動員した異常な数の警官及び機動隊員が両サイドにびっしり張り付く過剰警備ぶり。
夜は、「G8を問う集会」に参加（約100名）。海外ゲストなどが「何も生み出さないG8サミットは洞爺湖で終わりだ」「アフリカの貧困と開発」「移住労働者は『商品』じゃない」といったテーマで話す。

（7月6日）
朝から夕方まで、国際シンポ「自由貿易が食料・環境危機を招く!!」（WTO/FTA草の根キャンペーン実行委主催、約60名）に急遽スタッフとして参加。海外ゲストが「自由貿易と環境問題」（オーストラリア）、「農業の現状と自由化」（タイ、韓国、インドネシア）といったテーマで話し、北海道農民連盟の白川さんが北海道農業の現状を報告された。

（7月7日）
午前中、「飢餓・食糧危機セミナー」（農民運動全国連合会主催、約50名）に参加。
海外ゲストのビア・カンペシーナのメンバーが農民の立場から各国の現状報告を行なった。なお、招待されていた韓国農民のメンバー16人が千歳空港で入国拒否を受け、韓国へ強制帰国させられた。人権無視の過剰警戒で許せない。午後、帰広。
終わってみれば、洞爺湖サミットでは具体的な成果は何も上がっていない。いたずらに多額の税金（約606億円）を浪費し、不当逮捕や入国拒否の人権侵害を起し、過剰警備などで北海道市民に大迷惑をかけただけである。

ビア・カンペシーナのメンバー

4、下院議長サミットへの疑問

メインのG8首脳会議に向けて、外務大臣会合、財務大臣会合なども開催された。広島で開催された下院議長サミットは2002年より始まったが、儀礼的なものであり非公開で宣言等は出さない。要するにG8首脳会議のお飾りでありオマケである。最近ではサミット枠組みを補完する役割、つまりG8の権益擁護ためのテロ対策・エネルギー対策推進のための議会対策を担いつつある。私は、9月2日の下院議長サミット開催日に合わせて対抗開催された「核兵器廃絶フォーラム」（主催：核兵器廃絶をめざすヒロシマの会）において、上記内容のG8サミット批判を述べさせてもらった。広島の行政・経済界などはオマケに頓珍漢な期待をされたようだが、やはり中身は乏しく税金の無駄使いという後味の悪い“オマケ”が付いていた。米国、英国、ロシア、フランスは核兵器保有国で、G8諸国はほとんどが軍事大国で武器輸出国でもある。米国は劣化ウラン兵器を使ってイラクを破壊し続けている。そんな彼らが本気で「軍縮と平和」について議論したとは到底思えない。オマケのためにヒロシマを利用するのは許せない。

私たちの暮らしの電気と原子力から考える平和

石岡　敬三

瀬戸内に超大型原子力発電が作られようとしている

戦争の多くはエネルギー争奪のために引き起こされていると言われています。資源の無い日本でエネルギー自給を目指すためには原発は不可欠との国策のもと、我が瀬戸内、広島のすぐとなりの山口県上関原子力発電所の計画があります。27年前に立ち上がった計画ですが、ここに来て山口県知事が開発、埋め立ての許可を出しそうな状況です。そうなれば日本最大級クラスの原発工事の始まりです。武力での国際紛争になれば、どんな理由であれ原発は格好の標的になるでしょう。テロの標的にもなります。大きな武器を持たなくとも原子力発電所めがければ、膨大な被害がもたらされるでしょうし、また廃棄物からは核兵器の材料も作り出すことが出来ます。「陸海空軍その他の戦力の保持は、許されない」と宣言する憲法第9条にはふさわしくない物です。日本の中で原子力発電の新規建設が市民運動の大きな力もありこの所開発が止まっていた日本で、これは大変危険な状況です。

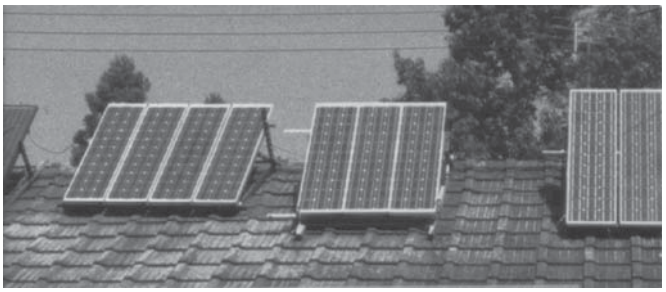
上関原発予定地は瀬戸内にありながらびっくりするほどきれいな海です。希少動物や希少生物の生息地でもあります。建設予定地4キロの目の前には祝島という漁業を中心に生活している人々が暮らしています。毎朝起きて外に出ると目の前に原子力発電がある。事故が起きたなら一番最後まで取り残されるということになる島です。運転時に二酸化炭素の排出が無いと言われる原発ですが、冷却水が暖められ膨大な温排水が海に流されます。建設時にも膨大な二酸化炭素は排出されます。使い終わった使用済の低レベル放射性廃棄物は300年管理、高レベル廃棄物は100万年管理しなくてはならないという上関原子力発電所はいりません!

オール自家発電＝脱原子力

私は30年前に核兵器と同じように原子力発電も怖いものだと知り、どう生きるかと考えたものです。脱原子力的生活を目指そうと決意し、それから随分年月もたった1990年にソーラーパネルを3枚（計150w）を取り付け電気を自分で作る生活に入りました。作った電気が無くなればその時点で寝るか、又は、原子力の電気に切り替えるかと言う選択をする生活です。原子力か自然エネルギーか？自分で選択できる暮らしです。1994年550wまでに増えたソーラーパネルで小さな貸家の電力完全自給に踏み切りました。その年の8月6日電力会社との契約を取り消し、『バイバイ・ニュークリア・パーティー』を開く事が出来ました。充分な電気量ではありませんでしたが、ささやかな、電気を工夫しながら暮らすというとても充実したオール自家発電生活でした。

日本における太陽光発電の普及状況

そんな時期と重なり、太陽光発電への国からの補助事業がはじまりました。1994年から始まった太陽光発電に対する設置補助制度当時の設置費用は1kw/100万円それから2005年には1kw/66.1万円というものでした。一般の家に取り付けられるのが、3kwシステム（最近では3kw～5kw）ということは1994年の設置費用は600万円/3kwその内が補助金300万円、2005年198.3万円/3kwで補助金18万円というように推移してきました。その間、設置件数で見ると253,754軒分の屋根に補助金を使って取り付けられたことになります。現在、国からの補助金は終了していますが、自治体によっては融資や補助をしているところもあります。自己負担のみで設置する人もいます。



世界の状況

日本では補助金が終了したとたんに設置数は世界のトップから第三位に転落。現在太陽光発電の製造量を企業別に見るとドイツのQセルという会社が日本のシャープを抜いて第1位になりました。日本で生産された製品は国内よりも海外に持ち出した方が高く売れるのです。しかし、設置する自己負担は日本よりヨーロッパの方が少ないのです。それは国の政策が不十分なためです。

温暖化問題がクローズアップされてきた今日、世界中で太陽電池の需要が増え、製造も盛んになってきています。ヨーロッパ、アメリカ、インド、中国など世界中で増産体制です。日本も同様です。ドイツでは自然エネルギーの割合を2030年に45％という目標を立てています。このように自然エネ

ルギーにシフトしていこうという政策は化石燃料の枯渇や温室効果ガス削減などですが、ドイツのように原子力からの脱却を視野に入れている国もあります。福田首相の「低炭素社会・日本をめざして」というスピーチで「2020年までに太陽光導入を10倍に増やす」というビジョンを掲げました。それを受けて日本の経済産業省は地球温暖化対策として今後3～5年で太陽光発電設置費用を半額に下げる方針を打ち出したそうです。具体策は無いままですが、販売会社やメーカー側では疑問視する声もありますが、現在設置を考えていた人たちが「半額になるまで待つ」ということで、日本国内の需要が冷え込んでしまっています。

ここで質問

「みなさん、今の暮らしで使っている電気をもっと沢山使えるようになればもっと豊かになれるって思いますか？」

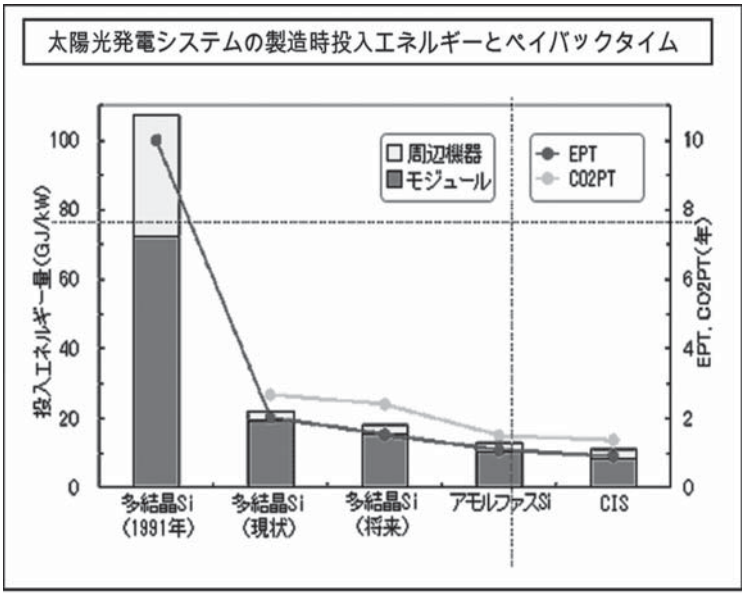
「今で充分、もう少し節約したって良い」と思っている人もたくさんいると思います。しかし、日本政府はいまだ原子力発電増強計画のもと、国策として原子力を推進する立場を取っています。これだけ充分な電力があるのに。化石燃料高騰のために原子力にシフトするという話もあります。太陽光発電も設置すれば、個人の家庭なら3KW～5KWで一軒の家がほとんどまかなえるのです。企業だって最近は自家発電しているし、この企業が自家発電で余った電気を売電出来るようになればもっともっと電気が出来ます。

オール電化

日本の場合いつのまにか、太陽光発電とオール電化がセットになってセールスされるようになってきました。なぜなんでしょうね？　原子力発電は出力調整ができないために常にフル稼働で動き続けます。当然夜間は電気が余ってしまします。ただでさえ定期点検や度重なる事故・故障で稼働率が悪い原発です。稼働率を上げるために安い夜間電力料を設定し、原発製の夜の電気消費量を増やすためではないでしょうか？　キッチンの汚れが少ないこととひきかえにオール電化で原発の存在を後押しする事は納得いきません。健康面での不安もあります。それに、これだけ沢山の太陽光発電が設置されたにもかかわらず電力の消費量が伸びていることも、おかしな事ですね。どうしても必要な電気を出来るだけ安全に自分で作り出す道具、それが太陽光発電だと思うのですが、より贅沢に電気を使うための道具になっているのではないかと思ってしまいます。太陽光発電も道具です。電気を贅沢する道具にもなれば、安全なエネルギーを自給出来る道具にもなります。

もっと賢く太陽光発電（自家発電）を使いましょう！

かつてアメリカで出会った友人は風力発電機ですべての電気をまかなっていました。アメリカでは日本よりも早く自家発電の電気が売電出来るようになっていたのでこんな質問をしたことがあります。「電気が売れるらしいけど売らないの？」「私は売らないよ。だって自分が作った電気を軍需産業なんかに使われたくないからね」という返事でした。確かに売電すると自分の意志とは全く関係ない電気の使われ方をするのは仕方ない事です。しかし、現在は太陽光パネルの価格が下がり、14年で約2/3になってきました。そしてエネルギー・ペイ・バック（太陽光発電を設置する事にかかるエネルギー回収時間）やCO2ペイバック（製造時に排出される二酸化炭素の回収時間）が1～2年となり、より環境に負荷をかけない発電道具になってきました。需要が増えたおかげです。しかしまだまだ200万円近い設置費は高価なものです。日本でもヨーロッパのような再生可能エネルギーの高価買い取りの政策などの政策実現を望みます。
戦争に参加しないためにも、巻き込まれないためにも、自然エネルギーの開発に世界中の力をそそいでいくことを望みます。（2008年9月20日）



千羽パネルプロジェクト

手作り太陽電池千羽パネルプロジェクトを紹介します。

　このプロジェクトはかつてインドネシアに原子力発電を日本から輸出するという話があり、それよりは太陽電池があればいいよ!日本から送るよりも現地で作れるようになれば良いな!ということから小さなソーラーパネルを手作りできるシステムをつくったNGOソーラーネットの活動がありました。

　そのムーブメントか発展して広島にやってきました。世界中から、全国から、広島を訪れる人達が大勢います。みんな原爆にふれ、戦争の愚かさを感じたり、平和の大事さを胸に抱き、帰っていかれます。そんな人たちにソーラーパネルを組み立てるワークショップ（ソーラーパネルの小さなセルを1枚1枚ハンダ付けする作業）に参加してもらいます。その小さなパネルを沢山繋ぎ合わせて将来、原爆資料館の電気の一部に使ってもらえるといいなという「千羽パネルプロジェクト」です。この企画を広島市にも提案していますが、まず市民に知っていただくという意味も含めて、広島市内の被爆史跡を照らす街灯などにみんなが作った手作り太陽電池を使うということを進めようと企画しました。

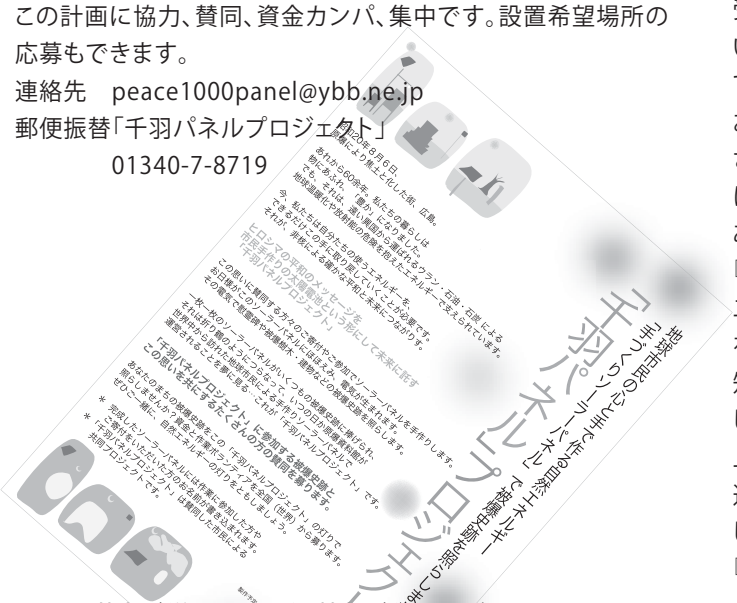
　スタートは広島駅近くの京橋川・白潮公園。市内に残る数少ない自然護岸のあるこの公園は、多くの生き物たちに水の恵を与えている貴重な場所です。ここは、たくさんの原爆犠牲者が水を求めて亡くなり、荼毘に付された場所です。その歴史を刻む慰霊碑が公園から川を見下ろすように建てられ、被爆桜も植えられています。この慰霊碑を照らすための街灯に使います。地元の方々や、この場所で活動している市民グループのみなさんの力で最初のパネルを作ります。

この計画に協力、賛同、資金カンパ、集中です。設置希望場所の応募もできます。

連絡先　peace1000panel@ybb.ne.jp

郵便振替「千羽パネルプロジェクト」

　　01340-7-8719



　こんな若者が増えています。情報が伝われば、しっかりとキャッチし、動き出すのです。北海道から山口に通い続けている青年通称「らんぼう君」26歳。先日の広島から山口までのウォークに参加した後下関まで歩いて署名を集めました。

http://blog.livedoor.jp/earthguide/archives/402012.html

以下、らんぼう君のブログより

9月19日、上関原発立地に伴う公有水面埋め立ての件で上関町議会の審議傍聴に行ってきました。瀬戸内海で随一の美しさを誇り、天然記念物や数多くの稀少価値の　高い生物が生息している田ノ浦の命溢れる海。そして、そのすぐ対岸には五億円という漁業保証金には見向きもせずに、ずーっと受け継がれてきた自然と共生し自立した生き方を大切にしている、祝島 の静かな暮らしがあります。祝島の人達はそんな大切なものを守ろうと上関原発反対を２７年間　もの間訴え続け、１０００回以上のデモを繰り返し必死に戦ってきた人達です。それなのに今年の６月、中国電力は県に対し埋め立て申請を提出しました。その美しい海が埋め立てられ、原発ができると温排水等、様々な影　響で確実に海が死に、祝島の暮らしが潰されます。あそこに原発を作るということは、そこに生きる祝島の人達、そして、数多くの美しい沢山の命に死ねと言う事になります。そのために今、中国電力や国と県と財閥がグルになってやろうとしているのは埋め立てという殺しです。

　今日、その埋め立てが上関町議会によって正式に認められました。賛成派多数の強行採決になったのです。本日、行われた上関町議会になんとか埋め立てをやめて欲しいと集まったのは２５０人程。その会議中、傍聴席に入れたのはくじ引きで決まった、たったの２０名。そのくじからはずれた約２００以上の人達には一切の会議中の内容は公開されず、会議室のある二階へのドアは警察と役員によって封鎖され、廊下への立ち入りも禁じられました。つまり、くじから外れた外の人間には何を審議されているかも全くわからないままに、どんどん町としての政策が決まっていくのです。そして、会議が終わった頃には埋め立てが成立しているのです。もちろん上関町からの説明は一切ありませんでした。

　そんな中、傍聴席に入れたメンバーや反対派議員の話によると、『キチンとした詳細調査も終わっていない。』『漁業保証金を受けとっていない祝島の漁業権をめぐる裁判も終わっていない。』『祝島の人達の避難経路のキチンとした対応も、まだされていない。』それなのに埋め立ての申請をするのは、明らかにおかしいと追求しても、賛成派議員はだんまりを通し、強行採決されたそうです。今後、上関町議の結果を受けて、知事の判断によってはすぐにでも　埋め立てが開始されてしまう可能性があります。現山口知事である二井知事は一番の被害者である『祝島の人達と会う気はない。』と話をしています。僕自身この二週間で広島から山口まで歩き、そして、下関まで行って山口を縦断し署名を集め、多くの人達と話をして、この問題について知っている方々の多くが原発反対を望んでいることがわかりました。なのに、祝島（←上関町です）を除く保証金で手なづけた上関町の意見のみを地元の意見として県は思いっきり、原発推進の姿勢でいます。僕はこの一週間で四回申し入れにもいきましたが、県の対応は、『知らない』『国の方針で』『……だんまり』『個人的な事はいえません…』

皆さん、どうおもいますか？　悲しくなりませんか？

こんな人達によってずーっと受け継がれてきた命があと僅かで失われようとしているんです。

僕は自然が好きです。美しい海が好きです。大切なものを受け継いだ幸せな生き方がしたいです。なんで同じ命なのに…

けどまだ希望はあります。埋め立てはまだ開始はされていない。まだ、海は壊されてはいない。・・・

一緒に本当の事を、何が大切かを広めていけたらと思います。次は知事の判断ですが、できるだけ県民の意識を高めて、共に声を 上げていきましょう。あきらめません!

8・6新聞意見広告2008へのご参加、ご協力、ありがとうございました

藤井純子

今年も８・６新聞意見広告を無事、掲載することができました。皆さまのご参加、ご協力、本当に有難うございました。今年は、読売新聞大阪本社版（北陸一部、近畿地方、四国地方、山口・島根一部を除く中国地方）に全15段、朝日新聞東京都心版に５段に掲載しました。振替用紙の小さな欄にぎっしりと書いて下さったメッセージ、「周りの人に呼びかけるのでチラシを送って」というFAXやメールには、大きな元気を頂きました。世話人一同、心より感謝申し上げます。

８月６日早朝、原爆ドーム前で意見広告別刷りを配布しました。「せっかく広島に来たんだから」と飛び入り参加の方もあり、30人以上の方々が参加して下さって3000枚が、あっという間になくなりました。また全国から、世界中からヒロシマに来られた方々の受け取りも好意的、15段そのままの大きさに驚いたり、「毎年、楽しみですよ」と声をかけてくださったり、私たちも頑張ってよかったねとニッコリ。やはり核兵器廃絶を願い、平和な社会をめざして広島に来られる方々だからでしょうか。この日の朝のこの行動には、本当にすがすがしいものがあります。

今年も紙面には、平和のスポンサーとして賛同してくださった皆さんのお名前を掲載しました。またメッセージは賛同者から寄せられた中からいくつか掲載させていただきました。タイトルは「９条世界会議」の成功を活かしたいと「憲法９条は、世界につながるピースロード」。イラストの９の字は、核のない、平和な社会をめざし、みんなで歩いていくピースロードになっていることに気づいて頂けたでしょうか。世界では今、戦争違法化の流れになっています。生物化学兵器、地雷禁止条約、クラスター爆弾も、広島に投下した原爆も国際法違反…　東南アジアの友好条約ができ、次に東北アジアの非核地帯を作る責任がある日本が、９条を変えることは、世界に逆行していることも示したいと思いました。
（これについては本誌4～5ページ「戦争違法化と日本国憲法」で掲載していますのでご参照下さい）

今年の掲載紙は、読売新聞、第九条の会ヒロシマとしては、これまでは朝日５回、毎日４回、中国２回、掲載してきましたが、読売新聞は初めてのことなので、世話人会で話し合い、メールのやり取りもして決定しました。決定した理由はいくつかあります。購読者が多いので、私たちの意見をより多くの人に届けられる。そして読売だと異なる意見の購読者にも見てもらって憲法について対話の一歩にできるのではないか。改憲の流れが変わってきた今こそ、憲法の素晴らしさにもっと多くの人に気づいてもらうよう、反改憲を強く押し出していくチャンスではないかなどでした。結果「5月3日の新聞意見広告と同様、読売に大きく掲載できたことは、改憲派には大打撃だっただろう」と言って頂いたことは、一番の喜びでした。

主張文には、いつも以上に時間をかけました。環境問題、子育てやくらしなどの紙面が多いことから若い購読者も多いとか…　優しいことば、わかりやすい文章にしたいねと推敲しました。世話人が集る回数も時間も例年より少し多かったかもしれません。しかし最後は、「やはり私たちの考えはしっかり主張するべきだよね」ということで落着。当たり前のことですが、時間をかけたからこそ出た結論かもしれません。

読売新聞の購読者は、見て賛同してくださる人は少ないだろうと予想していましたが、それでも紙面に「感想や意見を送って下さい」と書いたところ、８・６当日、配布をしている早朝から電話がかかってきました。「新聞を買いに行ったよ。よかったね」という友人のほか十数件は、新聞を見て電話をかけてくださった購読者のようでした。それも「素晴らしい意見広告を有難う」「９条は大切です。」「９のイラストがいいですね」「賛成なのでカンパ送ります」となかなか好評。どんな電話がかかって来るかと、構えて待っていただけに少々拍子抜け？　読売新聞社は改憲を唱導してきましたので、改憲派の購読者が多いだろうという先入観が強すぎたのかもしれません。日本で最大の発行部数だからこそ、読売新聞の購読者の考えも様々だということでしょうか。

もちろん反対の声もあり、やり取りをしていると大きな怒鳴り声になってきました。
「攻めてきたらどうするんですか？」
「アメリカに守ってもらうのですか」
「攻められっぱなしでいいとは、おめでたいヤツラだ」などなど。
それに対して「どこが攻めてくると思われますか？」「もし武力衝突すると私たちにどんなことがおきるか、考えたことはありますか？」と逆に質問をしていくと
「日本の軍隊が強ければ攻めて来んのじゃっ！」とプチン。

寄せられた購読者からの反応は…　ＦＡＸやメールでは２チャンネルのような反応がいろいろ来るだろうなぁと思っていたのですが、一番に来ていたＦＡＸは、「攻めてくる国は100％ない。」というものでした。「あれ？　私たちと一緒じゃない、この方はきっと賛同してくださったんだよね」と嬉しい誤算。もちろん他にもいろいろありました。次のようなものです。

◇◇◇

日本独自で守るようにすべきだ。そうすれば、沖縄の基地問題やそれに関係する卑劣な事件なども無くなり基地返還も可能になるし、思いやり予算もいらなくなる。　　姫路市66６歳　男

◆現実には　我国領土の不法軍事力占領や　海洋資源の調査開発に、海軍艦船が　現実に出撃して来ているし何の罪もない日本人が　主権領土内で拉致されても　話し合いでは米軍基地問題も他国の艦船との衝突も、拉致問題も話し合いでは解決しない。拉致は立派な宣戦理由に成る。交戦権のある国民は安全で、無い日本は世界の非常識で有る。憲法９条は無くして再軍備と交戦権を取り戻せば拉致された日本人の帰国は早まる。仮に佐渡が島が軍事占領されると米軍が動かなければ現常を打ち破れない。あなた達はならず者国家の特務なのか　この広告は準敵国への利敵行為としか考えられない。（U・T）

◆憲法９条を改正し、少く共　世界各国並みの憲法にすべきです。戦後、幸いにも平和でいられたのも日米安保条約による米国の　核に守られているからであり、憲法９条のおかげではない。特に近隣諸国の軍事大国化、核、核兵器の保有は、平和国家日本の安全を脅かしている。残念ながら　憲法９条を守る平和団体の血のにじむ努力を踏みにじりとどまることを知らない。我国の固有領土の実効支配する近隣諸国の行動、日本政府の対応など国民が心配している。憲法９条の精神をそれらの国へ輸出し　日本並みの憲法へ改正してほしいし、そういう活動をすべきでしょう。平和は自国だけでは出来ない。　（尼崎市）

◆日本国民は憲法第九条を大切に守って行こうと努力していると思うのですが、国会議員の中には、戦争容認する議員や、原子爆弾が、戦争を早く終わらせたと言う発言をするような議員もいて、日本と言う国は本心の解らない国。国民も議員を選ぶ時落選運動を行うような工夫が大事と思う。今のままでは？国民がまた損をする。６十年も経てば忘れて行く風化は凄く早い。世界の5大国も好きな事を言い過ぎだ。北朝鮮、イスラエル、イランなどに対しても国連もおかしいと思う。

◆毎年のこととはいえ、今年も数多く胸打たれました。核軍縮の実現可能への追及、こどもたちがヒロシマのことを同世代伝え始め、被爆と被曝、人間を核爆死させた戦争そのものへの問いかけ、米軍カメラマンの写真公開と米国内での反響…伝承の誕生した今年でした。来年は今年に倍して掲載地区が拡大するといいですね。（福岡　脇義重さん）

◆初めて意見広告を見ました。ただ「第九条の会ヒロシマ」とかかげる以上弱者を増やさない第九条という面もアピールしてください。ヒロシマナガサキだけでなく核実験での被爆者、原発で被曝した人、枯葉剤の被害者、ウラン採掘で被曝した人など。H・Gウエルズの原爆小説「解放された世界」はリアルで勉強になりました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

ご意見や感想を寄せてくださったことに対して、米軍が日本を守ってくれていると思っている人には、アメリカの世界戦略、とりわけ今回の米軍再編、そして在日米軍の狙い、陸軍司令部、ＰＡＣ３配備、基地被害、米兵犯罪等々、自衛隊が私たちを守る、専守防衛だと思っている人には「おおすみ」型戦車揚陸艦、イージス艦、ミサイル防衛への協力等など、国際貢献を言う人には、軍事力を使わないＮＧＯのこと、またイラク・アフガニスタンでそのＮＧＯが泥沼化で動けなくなっていることなどを繰返しました。納得していただけなかった人もあるだろうと思いますが、読売新聞に掲載したことによって、どんな反応があるのかを想定したり、寄せられたご意見にどう返事をするのか考えたり、逆に私たちの勉強になり、力になったのではないかと思っています。いづれにせよ、８・６新聞意見広告については世話人会で今後も話し合いが必要だと思っています。掲載紙や内容、その他、話し合ったことについては次号でも引き続きお知らせしていくつもりです。

昨年に続いて、２度までも首相が政権を投げ出し国会は流動的です。だからこそ世論が大きな力となるはずです。私たちは、この８・６新聞意見広告が、憲法改悪をストップさせる世論づくりの一助になるよう願って取り組みました。匿名の方を含め1800人の皆さまの賛同に元気を頂いて、次のステップに活かしていきたいと思います。（08年9月20日）

お名前は何度も確かめ校正したのですが、もし間違いがあったらご連絡下さい。
なお、掲載に間に合わなかった方々は次の通りです。（敬称略）

Robin・M 石橋眞喜子　石原顕　市川影一　市川真美恵
今田洋子　奥山たえこ　小黒佐和子　岸恵子　山川滋
小谷吉宏・小谷恵美子　小林正典　西塔文子　貞弘明子
佐藤瑩子　鈴木弘純　高田由美　髙橋幸子　武田靖彦
鄭澄恵・伊佐　西浦昭英　橋本啓子　原田恵子　前川純子
前川修　前川暁　前川湧 増沢君江　水谷美玲　宮坂武人
森山洋子　湯浅誠　若菜裕子　和田成枝

知人から意見広告の感想が寄せられました－
・よくぞ読売新聞に出してくれた。（なぜ決意したのか聞かれました。）いつまでも守りの姿勢ではだめであるから、今回の勇気ある行為には敬意を表したい。
・賛同者数の多いことに素晴らしさを感じた。（取り組みの歴史と例年の作業を説明した。）全国から賛同があることに力強さを感じた。積年の努力が実を結んでいるのだと思う。
・メッセージがよいとの感想を知人から受け取った。説教に使うといっていた。
・紙面の下のほうにある意見は、わかり易くて、ポイントを押さえていると思った。
―賛同人を呼びかけること、名簿整理、紙面づくり、とりわけ７月に入ってからは大変でしたが、頑張ってよかったなと思いました。　　西浦紘子

意見広告の制作に携わって

北村あおい

「新聞の意見広告を作ってみない？」という金子留里さんの誘い文句に、「やるやる」とつい軽い気持ちで引き受けてしまったのが始まりでした。引き受けてから思い返してみると、これまで憲法９条については学校の授業で聞いたくらいで、内容について深く考えたこともあまりないことに気がつきました。正直なところ、こんな私が９条に対する皆さんの熱い思いを、うまく表現できるだろうかと不安にもなりました。でも、会議でこれまでの広告を見せてもらいながらいろいろなお話を聞き、何度も何度も９条を読み返して行くうちに、9条を世界に向けて平和を訴える道筋としてとらえようと自分なりのイメージを膨らませることができました。誰にでも親しみやすいようにソフトな感じで表現したいねと話しもまとまり、イラストは漫画家の山田奈穂さんにお願いし快く引き受けてもらいました。こうして何度も何度も９条を読み返してデザインしていく作業は、私にとって改めて世界の平和を考える良い機会になり、あわただしくはありましたが、とても有意義な時間になりました。

また、例年８月６日は、実家が平和公園の近くなのに人の多い記念式典が苦手で、いつもTVの前で黙祷をしていたのですが、今年は自分の作った広告を受け取った人の反応が気になって、原爆ドーム前の広告配布にも参加させてもらいました。全国各地から大勢の人が来ているのに、まずびっくりし、私の配る広告を気軽に受け取ってくれる学生の多さにまたびっくりさせられました。この若い人たちに９条や平和に関心をもち続けてもらうために、私の関わった意見広告がお役に立てたのなら本当にうれしいです。そして、広告を受け取ってくれた人につながる多くの人が、平和を大事に考えてくれることを、あらためて今、心から願っています。

山田奈穂　画

今年3月、会計監査の金子留里さんに、８・６新聞意見広告の紙面づくりのことでご相談をしたところ、北村さんにお願いして下さいました。また、イラストはお二人から山田さんにお願いして頂き、それもまた快く引き受けてくださいました。

8･6新聞意見広告 2008年度会計報告

（2008年3月11日～9月2日）

（単位:円）

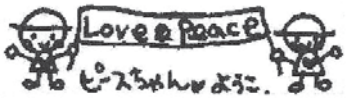
収入の部		支出の部	
摘　要	金　額	摘　要	金　額
新聞意見広告賛同金	3,271,700	新聞意見広告料	3,428,250
前期繰越金（新聞意見広告分）	288,135	制作費	150,000
カンパ収入から	276,760	ヘルプハガキ代	70,200
		印刷代（チラシ、封筒他）	80,020
		意見広告紙コピー	24,600
		送料	42,200
		人件費	22,000
		返金	16,000
		雑費	3,325
収入合計	3,836,595	支出合計	3,836,595

＊　08年度の新聞意見広告料は3,428千円で、昨年度より278千円増加しました。支出総額は、印刷代、送料、制作費などの諸経費を含めて3,836千円。賛同金収入は3,271千円で、昨年度より514千円ほど減少しました。支出総額に対し、差引565千円の不足となりました。このため、不足分は、昨年度繰越金の全額288千円と今年度のカンパ収入の一部で補填させていただきました。

2008年9月17日　会計担当　佐々木 孝

皆さんからのメッセージ

☆ ９条は世界の宝です　ヒロシマの新聞広告の成功を願っています。	赤羽真理子	長　野
☆ 『流れが変わった』ことに確信をもち、さらに広げましょう。	浅川保	山　梨
☆ 戦争とは、なんの罪もない人々の命をうばうこと。全世界戦争放棄	浅野健弘	神奈川
☆ 敗戦で日本は生れかわり、永久に戦争しないと誓った筈だ	新井俊一郎	広　島
☆ 今、日本が世界に誇れるものは憲法９条です	池田尚子	広　島
☆ 『ゴジラの叫び』で掲載して下さい。	池原正雄	鳥　取
☆ 今の私達と　これから生きて行く子供たちのために　第九条を守りましょう	池松綾子	長　野
☆ たいへんおそくなりました	石田弥生	東　京
☆ 子どもたちの明るい未来は９条を守ることから	石原清美	広　島
☆ ９条は私たちの宝。そして９条は永久に平和を築く宝です。	泉真沙子・泉晴夫・泉幸子	北海道
☆ 意見広告は市民として大切な機会だと思います。いつもありがとうございます	市橋みはる	東　京
☆ 武力によらない平和への希求をあきらめないよ！	井上由美・井上雄之・井上聡子・井上素行	広　島
☆ 広げよう　どうぞの気持ちと平和の心！	井原俊博	広　島
☆ 核兵器は人類絶滅兵器	今井和登	兵　庫
☆ へいわあれば、みんなのよの中。へいわなければ、いばるひとのよの中。今泉菜々子（小３）　イラストあり。	今泉洋子・今泉菜々子・荒谷隆太郎	広　島
☆ 憲法９条　世界の宝	岩瀬房子	東　京
☆ 高齢(85) となり体調が悪いので最後にします。地元で3年前から『9条を守る十条の会』をしています		
☆ 罪がない子供達や市民の犠牲をこれ以上出さぬよう　早く戦争を終わらせるべきです！	岩本恵子	広　島
☆ オギャアと生まれてこの世にバイバイするまで、九条を守ろう　広めよう	植木八重子	広　島
☆ ひたすらに＜平和＞を心に！！。＞	上原洌	埼　玉
☆ せんそうにいったらしぬから、ぜったいやだ	上室真由美・上室智寛・上室准	広　島
☆ 絶対に忘れてならないことをもっと声を大にして伝えたい	内海初子	京　都
☆ 自衛隊は1歩たりとも国外に出るな！　防衛省でなく防災省	榎本光子	神奈川
☆ 平和を育くむ自分流の意思表示を！	大木晴子	東　京
☆ 世界の国が『第９条』を持とう！	大月郁夫	東　京
☆ 今までもこれからも、わたしのくらしを守る９条、絶対に必要で	大野てるよ	広　島
☆ 〝９条の会〟が続いていること、本当に嬉しいです。	大庭滋子	神奈川
☆ 平和憲法を暮らしに!!	岡崎敏彦	広　島
☆ 護憲・平和の闘いは、まさに正念場です。	岡村達郎・岡村俊子	大　阪
☆ やり続けるしかないよ！	小川桂子	神奈川
☆ 地球儀に見る小さな島国日本、とてつもない戦争の後に持たされ、持ってきた九条の大切さをいま一度考え直そう。	奥下厚子	香　川
☆ 戦争からは平和は生まれない！	小口卓也	東　京
☆ 忘れてならぬもの、（戦争の悲劇と平和の有難さ）それを忘れる人間（日本人）の愚かさよ！	押部禎一	福　島
☆ ひとまかせにしない心が第一歩	小田切敬子	東　京
☆ 9条をまもるぞー!!　後悔したくないから	笠原美恵子・笠原久幸・藍	広　島
☆ 絶え間ない歴史の重みを正義と平和の為に	加藤義雄・加藤節子	兵　庫
☆ 宣伝ビラ50枚を送ってください。集会に配布します	兼崎暉	福　岡
☆ 人類の祖先はナメクジウオ、ならば鯱張ることもなし	金築寛・金築美早子	広　島
☆ 南北朝鮮が統一され、北朝鮮で結婚している拉致被害者たちも、家族で日本に帰り、交流ができますように。	兼綱國章・兼綱寿美子	広　島
☆ ９条を世界の共有財産に！	川島鋭二・川島悦子	広　島
☆ 『九条は世界の宝』繰り返すな広島・長崎の悲劇	木林佐和子	東　京
☆ 九条は人類の宝。戦争に行くことのない連中に九条を変えさせてはならない！	桐澤哲郎	広　島
☆ 9条を日本のみでなく世界に広げよう	久保田昇	長　野
☆ 『戦争は絶対にしてはいけない』90才の父が死の床で最後に遺したメッセージです	蔵並弘子	神奈川
☆ 防衛費はゼロにして　暮らしを守ろう	栗木黛子・栗木耕作・仲兼久柾・仲兼久遊美	東　京
☆ 平和の大道　憲法9条	黒田幸夫	宮　城
☆ （9条詠）あのときに　おじいちゃんたち　あやまちを　くりかえしたねと　いわれたくなし	黒沼智	山　形
☆ 8月6日は丸木美術館でもヒロシマ忌の集い、灯篭流しにとりくみます。ヒロシマを原点に九条の理念を世界へ！	小寺隆幸	東　京
☆ 憲法9条は世界に拡げるべき宝、今後も生かしていきたい。	小林正典	広　島
☆ ９条の輪（和）世界に広がれ！！　みな地球人	紺田亮・かおり	広　島
☆ 自衛隊の海外派兵は憲法9条に反します。派兵恒久法反対!!	齋藤修	静　岡



☆ 核のない明日はヒロシマから！	斉藤美智子	東　京
☆ 今の世が平和と言うなら　九条があるから　世界に九条を広めよう	坂健二	奈　良
☆ 一時の感情の戦争への道を止める、話し合う日常をつくりだそう	坂健二	奈　良
☆ 九条で地球を守ろう	坂田きみ子	神奈川
☆ 世界の宝９条を守り、海外派兵法を断固粉砕しよう！	坂本秀行・坂本郁子	千　葉
☆ 九条を世界中の憲法に	坂本文夫・裕子	東　京
☆ 第九条は宝！	佐藤信子	神奈川
☆ 憲法のなしくずしには反対	島田好国	広　島
☆ “父と暮らせば„を観た、“花はどこへ行った„を観た、私たちはいつまで戦争を許し続けるのだろう。	清水れい子	神奈川
☆ 日米安保解消は平和への近道　自衛隊は不要　軍備費は世界の福祉に。	白木時	大　阪
☆ ストップ改憲	白木奈美	岐　阜
☆ 殺されるのはイヤ　殺すのもイヤ	城山大賢	広　島
☆ 九条を変えないで　戦争に加担しないで！これが願いです。	杉原豊子・ムツごろう	長　崎
☆ ご苦労様です。お互いに頑張りましょう。	鈴木弘純	大　阪
☆ 読売の読者の中にも共感してくださる方はきっといるはず！	鈴木聖幸	広　島
☆ すべてのこどもたちが産まれてきてよかったといえる世界を！	鷲見絹子	広　島
☆ 命を守る９条を世界に広げよう！	脊尾昌弘・幸子・元太・花野	広　島
☆ ９条の理想の下に市民がひとりひとり集まることが、平和への一番の近道だと思います	髙岡純子	福　岡
☆ 幼き日、『母ちゃん、戦争に反対した？』と母に問う。今、私が問われる立場。	髙木美栄子	東　京
☆ 私たちの大切な血税を　命を守ることに使って！！	高崎孝子	広　島
☆ 人類そして地球平和のため、九条厳守し、世界へ発信しよう！！	高橋雄四郎	神奈川
☆ 21世紀の平和の為、憲法九条を世界へ広めよう！！		
☆ 平和のための協同をもっと広げましょう！	竹腰英樹	東　京
☆ 毎年のヒロシマの取組みに励まされます。合掌	武田隆雄	東　京
☆ 争いのない世界は貴方の事であり私の事です。そして子ども達の明るい未来です	竹村茂夫	新　潟
☆ 共に与えられている『いのち』を尊重し合える平和な社会こそ私の願い	田中暉彦	香　川
☆ 『9条』の花を世界の国々に咲かせるこちができたら･･･どんなに素晴らしいでしょう！	田中之浩	熊　本
☆ 平和に向って今年も前進！ご奉仕ご苦労さまです	田端武	兵　庫
☆ 軍備不要、基地不要。	千葉浩之	山　口
☆ 私　憲法を読めば読むほどよくぞ封建制度の日本救済の法　高い理念　全くあたり前のことが敗戦の時　一筋の光明の様に日本にさしこんだと思っています　これに労働憲章のILOの精神が世界に行きわたれば　今の奪取の新自由主義は消滅していくと思っています。最後は人間の良識が勝つのです	出川賀世子	東　京
☆ 九条こそ地球人類の羅針盤	堂垣内崇雅	広　島
☆ 九条は世界の子どもたちへのプレゼント		
☆ 9条は日本の国宝です。戦争をしない国は世界の手本です。	戸川知子	広　島
☆ 憲法9条は世界の宝　広げよう戦争のない世界を	渡口差知子	大　阪
☆ 第九条は永遠に！！	戸野寿美江	広　島
☆ 戦争はやめよう。大自然を守ろう。少年兵であった日々を忘れないよ。	中土勝雅	広　島
☆ 活用してこそ第九条が生きるのです。	中道朋子	北海道
☆ サミットで原発容認が二酸化炭素とひきかえとは！	中村信義	兵　庫
☆ 9条は世界の宝、9条は絶対まもるぞ！！	中村峯子	広　島
☆ 独立心と自尊心を堅持して祖国を守りましょう	中屋正仁	山　口
☆ 憲法9条を世界の人々に広めよう！	永山良樹・永山京子	広　島
☆ 武力で平和は造れない	西家美智代	岩　手
☆ 憲法9条を世界に!！	西川恵子	広　島
☆ 反改憲から軍縮へ	野津功・野津睦子	東　京
☆ 軍事費を減らして生活を守れ！	野村晋一	東　京
☆ 究極の目標！兵器→零の世界への歩みを。	野村美登	千　葉
☆ 世界中の子ども達の笑顔を守るために　私達は九条を守る！！	橋詰順子	広　島
☆ 戦争はしない。だから　軍隊も武器もいらない。	光子ども会	広　島

☆ 憲法９条は日本の誇るべき財産であり、世界平和への道標となるものです。この９条を守り行使していくことが私たちの使命だと考え	ひろしま医療人・九条の会	広　島
☆ ゆとりと平和と	広島市教職員組合（新市教組）	広　島
☆ 九条をしっかり守って世界中に届けよう	深澤睦子	神奈川
☆ 絶対　九条は守らねばならない	福井隆夫	奈　良
☆ 多大な犠牲を払って、得た九条　死守すべし	福岡行子	熊　本
☆ ９条は人類の宝	藤井英二	広　島
☆ 絶対　憲法9条を守り世界に広げよう	藤井淳子・藤井和治	東　京
☆ 九条はこの国の希望であり、人類の希望であります。	藤井久志	広　島
☆ 防衛は武器ではできません！	藤岡耕二・梅坂紀子	広　島
☆ 9条は地球環境を守る！	藤木香代子	神奈川
☆ 紛争の解決には暴力や武力によらない事を全世界が願っています	藤野覚平・藤野美津子	広　島
☆ 憲法九条こそ 世界の平和の指針！	藤村美登里	広　島
☆ ９条世界会議で改めて、世界が、特にアジアが、９条に注目しているとわかりました。	古屋敷一葉	東　京
☆ 地球の歴史・生命の歴史としてヒロシマを考えたい。	本多勝一	東　京
☆ 人は武力では支配できない。家庭の平和があって、世界の平和それは真心。	槙野数行	広　島
☆ 平和への思いは広島が原点	増沢君江	東　京
☆ 憲法9条こそ世界平和への第一歩　平和こそ人類最上最高の願望。9条を世界にひろめましょう。	升味久子	東　京
☆ 9条を世界の憲法に	松藤富隆	広　島
☆ 武力では平和はやってこない。だから、9条を守ろう		
☆ 簡単な事だ！皆が九条を知り、守る。それで〝平和〟は出来る。	松本忠司・松本真佐枝・松本拓	広　島
☆ 平和を願う	三浦昭二	大　阪
☆ 核の無い地球に！	溝田幸	東　京
☆ お互いにしっかり９条の輪を！	三井貞子	埼　玉
☆ 真宗太谷派の念仏門徒として、九条実現を願います。	村山教二	新　潟
☆ 戦後、世界の国々にした大切な約束を簡単に破ってはいけないと思います。	毛利勇二	岐　阜
☆ 戦争で利益を得る者を許してはならない。	桃原久枝	東　京
☆ 平和をつくるのはわたしたちの力です	森岡純子・加藤ニコル	京　都
☆ 民営化や貧困等によって9条が掘り崩されかねないという話を聞きました。９条を軸としつつも、平和を守るためには広い視野が必要ですね。	森田幸宏	東　京
☆ 世界へ九条を♪　Rumi	森田留美	大　阪
☆ 9条世界会議の成功　喜ばしいことです。世界から期待されているし、また支えてもらえると思うと心強いです	森永肇子	大　阪
☆ 30の会および市民意見広告運動にかかわっている者です。今年も8.6ダインのドーム前集会に参加します。	諸橋泰樹	東　京
☆ 武器の代わりに花を！	柳本つとむ	三　重
☆ 負の遺産を孫や後世の人にのこしてはなりません	山今彰	広　島
☆ 憲法９条は世界の宝！	山内正之	広　島
☆ we can change　the　world！　きっと世界は変えられる	山口たか・井上康秋	北海道
☆ ご活動ありがとうございます	山下とも子	新　潟
☆ 九条の精神を世界の原理に！	山中哲夫	愛　媛
☆ 手をつなごう　みんなで　手をつなごう	由井悌子	東　京
☆ 忘れまい　被害も加害も　忘れまい九条こそが世界の希望	吉川邦良・吉川清子	東　京
☆ 東京大空襲を経験した。あの地獄を２度と起こしてはならない。９条こそ私たちの宝なのだ。	吉田正	広　島
☆ 『殺されたほうがよい人間などいない』とヒロシマは考える	吉田達也	神奈川
☆ I ♡ 9	吉永愛子・吉永智恵子	東　京
☆ 今、ヒロシマの私達が九条を守らないで誰が守るというのですか！家族と平和、大好き	吉野登喜子	広　島
☆ 世界の宝　第九条を守ろう！	吉野誠	広　島
☆ 憲法を守る政治家をえらびたい	吉原知子	広　島
☆ 愛のある平和なまちを！	吉光成美	広　島
☆ 憲法九条は人類が生み出した素晴らしい知恵！！	脇田幸子	広　島
☆ もう殺すな！この地球で生きようよ。	渡辺栄子	千　葉
☆ 憲法を平和とくらしに	（匿名）	広　島
☆ 殺すな　（イラストつき）	（匿名）	東　京
☆ 九条は宝　戦争体験老人	（匿名）	大　阪
☆ 九条という世界的良薬をG8、特にアングロサクソンに飲ませたい。	（無記名）	

I♡9

８月６日早朝、８・６意見広告を配布しました

ダイ・イン

「８．６ヒロシマ平和へのつどい」の
代表をしてきた湯浅一郎さんは、
2008年で最後です

活動記録　２００８年４月以降

６月　１１日　第九条の会ヒロシマ会報＋８・６新聞意見広告チラシ発送　広島市民交流プラザ
　１５日　＊海田九条の会　学習会
　２１日　＊三原九条の会　湯浅一郎講演会
　２５日　第九条の会 ヒロシマ世話人会⑥（８・６新聞意見広告）　岡本平和研
　　９条世界会議事務局会　弁護士会館
７月　３日　ヘルプハガキ発送　広島市まちづくり市民交流プラザ
　４日　＊西部住民の会　講演会　西区民文化センター
　５日　＊マスコミ九条の会　講演会　中国新聞社
　７日　第九条の会 ヒロシマ世話人会⑦（８・６新聞意見広告）　岡本平和研
　９日　＊「哀しみのＤＥＣＥＭＢＥＲ」　アステールプラザ中ホール
　１４日　第九条の会 ヒロシマ世話人会⑧（８・６新聞意見広告）　東朝広告社＋読売大阪来広
　１６日　８・６新聞意見広告相談会　岡本平和研
　２２～２３日　第九条の会 ヒロシマ名簿整理　岡本平和研
　２５日　８・６新聞意見広告名簿
　　＊九条の会・呉　井原前岩国市長講演会
　２６日　＊弁護士会憲法　梅林宏道講演会＋シンポジウム（水島朝穂ほか）　広島YMCA
　２８日　８・６新聞意見広告紙面校正　岡本平和研
８月　５日　＊８・６ヒロシマ平和へのつどい２００８　広島市民交流プラザ
　６日　８・６新聞意見広告配布３０００枚　原爆ドーム前
　　＊NO DUヒロシマプロジェクト集会
　　＊核兵器廃絶をめざすヒロシマの会　反核のつどい　レベッカ：ジョンソンほか
　７日　＊スタディークルージング
　８日　８・６新聞意見広告別刷り発送　広島市民交流プラザ
９月　１日　広島県９条ネット相談会　平和資料館会議室２
　２日　＊反Ｇ８議長サミット広島集会　アステールプラザ（核兵器廃絶をめざすヒロシマの会主催）
　１３日　第九条の会 ヒロシマ世話人会　岡本非暴力平和研究所
　１６日　広島県９条ネット相談会　平和資料館会議室２

広島の基地群、近代史がわかる！

呉市民平和講座として行った連側の学習会（ヤマトミュージアム・呉海自・岩国基地）を冊子にしました。米軍再編の進む中、地域で活動するピースリンクの活動から広島の基地群の問題点がわかります。
どうぞお求め下さい。
１冊　800円　10冊以上　600円
連絡先：0823-24-2414（呉ＹＷＣＡ）

『９条世界会議の記録』（大月書店）
ができました！

◇書店販売　１冊1800円　＋税
◇事務局販売　５冊以上1600円（税込）
　　10冊以上1500円（税込）
※　送料は無料
※　**インターネット販売準備中**

お知らせ

■九条の会・はつかいち第4回総会・記念講演会
10月18日（土）12:30（総会）、13:30（音楽プログラム、講演会）
さくらぴあ小ホール（廿日市市下平良1－11－1）
講師：浅井基文さん（広島市立大学広島平和研究所所長）
主催：九条の会・はつかいち　　参加費：500円
連絡先：090-3373－5083（新田）

■守ろう九条 邦楽と講演の集い
10月18日（土）１４：００～　　呉市民会館
講師：平岡敬さん
主催：呉九条連絡センター　　参加費：500円
連絡先：川上靖司　０８２３－７１－８２４７

■広島市教職員９条の会（準備会）アレン・ネルソン９条を語る
10月4日（土）10：00～　　広島市東区民文化センター
栗原草の根・９条の会　創立３周年記念集会
10月4日（土）14：00～　尾道市栗原公民館

■信教の自由とヤスクニ問題（ヤスクニ神社問題特別講演2008）
10月4日（土）　14:30～16:30　広島YWCA　参加費:500円
広島市中区大手町4-3-10　082-241-5313
講師：菅原龍憲さん（浄土真宗本願寺派正蔵坊住職）
主催：日本基督教団西中国教区靖国神社問題特別委員会
連絡先：084－963-5380（神辺教会宇佐美睦朗）

■小森陽一・宮沢賢治を語る
11月2日（日）　10：00～　国際会議場　要予約
主催：子どもの本・九条の会広島（準備会）
連絡先：028-221-0435（三浦精子）

■「今こそ　歴史に学ぶ時」平岡敬講演会
11月3日　14：00～　三原市中央公民館中ホール
講師：平岡　敬さん
共催：九条の会・三原、九条の会おのみち
連絡先：0848-62-5929（日本基督教団三原教会）

■暮らしと憲法学習会
11月22日（土）14:00～　広島女性センター（ＷＥプラザ）
講師：平田かおり弁護士
主催：女性９条の会・ひろしま　共催：ＷＥプラザ市民参画講座

■九条の会　第３回全国交流会予定　要予約

■広島弁護士会　取り調べの可視化シンポ
11月30日　13：30　県健康福祉センター

■日本の青空上映会
12月6日（土）青少年センター　　昼夜2回予定
主催：上映実行委員会

アフガン戦争から7年　海外派兵反対の平和船団

１０月４日（土）9：30集合　潜水隊前
10：00出航　Ｆバース
呉海自からテロ特措法に基づき、今でもインド洋に違憲の給油作戦を展開しています。派遣延長をさせないように平和船団で抗議の意思表示を行います。どうぞご参加下さい。応援のボートカンパも大歓迎。
主催：ピースリンク広島・呉・岩国
連絡先：0823-24-2414（呉ＹＷＣＡ）
振替：01310-9-7720（ピースリンク広島・呉・岩国）

「森と水と激戦地」シスター清水講演会

10月26日（日）10：30　幟町教会カトリック会館
講師：清水靖子さん（ペリス・メルセス会）
日本軍のアジア太平洋戦争激戦地の現地調査、戦後日本企業は、森林破壊　放射性のゴミを廃棄し続け、その調査で週刊金曜日ルポルタージュ大賞受賞
著書：「森と魚と激戦地」「日本が壊したパプアニューギニア」
連絡先：082-899-4688（山口裕子）

「非人道的兵器禁止と日本の役割／クラスター・劣化ウラン・核兵器廃絶に向けて」*

11月16日（日）午後２時半～４時半*
広島平和記念資料館・地下会議室―１

―クラスター兵器連合グローバル・アクション参加企画
講演：目加田説子さん
「クラスター爆弾の問題と課題」（JCBL運営委員）*

キャンドル・メッセージ　―ICBUW国際共同行動参加企画

午後５時～６時半　　原爆ドーム前広場
［雨天の場合、翌日の同じ時間に順延］

「次は、劣化ウラン兵器禁止だ！」（BAN DU NEXT!）
*――**広島からオスロ・ニューヨークへ
12月オスロで「クラスター爆弾禁止条約調印式」、ニューヨークの国連総会で、劣化ウラン決議の採決が行われる予定です。
主催：JCBL（地雷廃絶日本キャンペーン）、ICBUWヒロシマ・オフィスほか／後援：（財）広島平和文化センター

事務局から

2008年度会費のお願い

８・６新聞意見広告の賛同金、会費を送って下さいました皆さま、ありがとうございました。2008年度の会費がまだの方、引き続きお願いできれば幸いです。納入状況はタックシールに記載をしていますが、間違いがありましたら遠慮なくご連絡下さい。
TEL：070-5052-6580
E-mail：fujii@jca.apc.org（藤井）
FAX：082-283-7789（佐々木孝）

後記

・沢田研二の「我が窮状」。その中にある「この窮状　救えるのは静かに通る言葉」そんな言葉がほしい。
・札幌のレインボーマーチって不思議な、でもステキな意思表示の場。知人が言ってたけど「いつも自分を押し隠して生きている当事者にとって年に一度の『呼吸』の場みたいな。あのパレードに元気をもらってまた自分の場所で一年がんばるみたいな…」でもこれは声に出さない、出せない人に通じているような…　だから…
・原子力潜水艦ジョージワシントンが横須賀に来るけど、この会報に時間がかかって断念。でも、車にボートを積んで夜通し行って、朝から平和船団に乗り、そのまま来た道を帰ってくるなんて無理…　今度、呉で頑張ることにしよっかな？　イラク・インド洋につながる呉なんだもの。
・暑い長い夏でした。この会報が着く頃には少しは涼しくなっているでしょうか？　鈴虫の声はよく聞こえるのに。